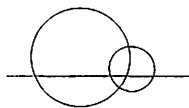


〔諸事項の報告・紹介〕



最終実施年度となった、2009年度「大学史」リレー講義

大学史事務室 佃 隆一郎

はじめに

本愛知大学創立60周年にあたった2006（平成18）年に名古屋（三好）校舎で開設され、翌年度より豊橋校舎でも学部・短大合同の形で行なわれてきた「大学史」リレー講義（名古屋校舎では「総合科目1」の名で開講）であるが、先のカリキュラム見直しにより2009（平成21）年をもって、両校舎とも打ち切られるにいたった。初年度より「実質的コーディネーター」として同講義にほぼ毎回関わってきた筆者にとって、この打ち切りはやはり残念であったが、2008年までの各年度の「大学史」講義についての紹介・報告を（07年3月に実施された関連シンポジウムを含めて）、『愛知大学史研究』（これも09年で刊行打ち止めになったが）創刊号から第3号まで掲載してきたことから、今回この（直接の関係はないものの、大学史部門をも包含している東亜同文書院大学記念センターの）『オープン・リサーチ・センター年報』での場を借りることで、最終実施年度となった2009年度「大学史」講義についての、豊橋・名古屋両校舎双方での実践の概略を報告したい。

2009年度の実施概略と、これまでとの変更点

まず述べておくべきことは、当初から教学担当副学長が担当することになっている「講義責任者」が、同副学長を務めていた太田明氏の辞任にとも

ない就任した功刀^{くぬぎ}由紀子氏に代わったことである（太田氏はさらに他大学へ転任）。これにより責任者は初年度以来、結果的に毎年交代することになったが、功刀氏のもと改めて策定された各講義と、それぞれの担当者は以下の通りである（シラバス記載時のもの）。

〔講義全体の流れを構成するもの〕

はじめに：「大学史」の解題：功刀副学長
愛知大学の創設の経緯：今泉潤太郎氏
（元教員）

愛知大学創設の理念：大島隆雄氏（元教員）
本学の前身「東亜同文書院」の歩み

①東亜同文書院大学から愛知大学へ：小崎昌業氏（卒業生）

②東亜同文書院大学の「大旅行」：藤田佳久教授

「愛大事件」とは何か：豊島忠氏（卒業生）
薬師岳での山岳部遭難事故：山田義郎氏
（卒業生）

大学紛争と大学改革：武田信照氏（元学長）
大学の起源と展開

①大学の起源—西欧中世大学—：北嶋繁雄氏（元教員）

②ベルリン大学と日本の大学：河野眞教授

③日本における大学の発展：未定（従来担当者の転任による）

愛知大学の現在：佐藤元彦学長

〔トピック的なものとして随時挿入するもの〕

(豊橋) 愛知大学キャンパス案内

(名古屋) 愛知大学キャンパスツアー：筆者

愛知大学での正課外活動：中本克樹氏

(卒業生)

中本氏は現在テレビ愛知で報道制作局アナウンサー部長を務めている、名古屋(現車道)校舎法経学部法学科を1986年に卒業した本学OBであり、前年度より導入された「社会で活躍している同窓生の講演」で今回招聘した方である(人選は校友課による)。また、「未定」としてシラバスに記載された分の担当者は、その後の教学委員会での審議で東亜同文書院大学記念センター・ポストドクターの武井義和氏に決まり、併せて武田氏の担当辞退をうけて、同氏の担当分は筆者が行なうことになった。その他の担当者は前年度と同一であるが、同じく豊橋で春学期、名古屋で秋学期のいずれも金曜4限目(名古屋の「…キャンパスツアー」のみ木曜午後)に設定されたこの講義の日程・スケジュールを、続いて以下別掲する。

回	豊橋校舎 学部・短大	名古屋(三好) 校舎学部
1	功刀(4/10)	功刀(9/18)
2	今泉(4/17)	今泉(9/25)
3	大島(4/24)	大島(10/2)
4	佃(5/1)	小崎(10/9)
5	小崎(5/8)	藤田(10/16)
6	藤田(5/15)	豊島(10/23)
7	豊島(5/22)	山田(10/30)
8	山田(5/29)	佃(11/5)
9	中本(6/5)	佃(11/6)
10	佃(6/12)	中本(11/20)
11	北嶋(6/19)	北嶋(11/27)
12	河野(6/26)	河野(1/8補講)
13	武井(7/3)	武井(12/11)
14	佐藤(7/10)	佐藤(12/18)

両校舎での担当割り当て

(カッコ内は実際の担当日)

2009年度春・秋両学期それぞれの、実際の進行

前の年度以来受講者数の減少が見られたことで時間変更による持ち直しが図られた、秋学期の名古屋校舎での講義であったが、実際はさらに履修者が減少して実質10人余に落ち込むことになり、とりわけ(東亜同文書院の歴史を特に教示すべきである)現代中国学部生が事実上受講ゼロとなってしまったのは、(原因についてはさておき)大きな誤算であった。一方で春学期の豊橋校舎はさらに増え、200人余にも達したことで、両校舎では決定的な“温度差”が生じることになった。

履修者数に大きな隔たりが生じたものの、各担当者の講義は両校舎ではほぼ同じ形で行なわれた。1回目の功刀新副学長による講義は、パワーポイントを用いた“愛大史クイズ”となり、受講生の関心のある程度ひいたようであった。併せて同じ時間の後半には、筆者が豊橋・名古屋それぞれで別個のアンケートを実施したが、これは前々年度より行なっていた(当時の第1回は筆者単独で担当)ものである。従来と同様、春の豊橋では1年生が入学直後ということで、各大学共通の課題となっている「不本意入学者への対処」(寺崎昌男・元東京大学教授が提起した問題であり、これが「大学史」講義が各地の大学に導入される契機となった面があった)に関連して、1年生には「愛知大学に入学して」、2年生以上には「愛知大学で学んでいて」というテーマで小作文を書かせた。秋の名古屋では、当時の1年生が2012年春に予定の“三好キャンパスの笹島(名古屋市街地)への全面移転”の対象となり、2年生以上にとっても“今来ているキャンパスが卒業後消える”ことになることから、「三好の愛知大学に在学して」というテーマで書かせた。両校舎の受講生がそれぞれ無記名で提出したアンケート作文の主要部を、文末の【別表】1・2に掲載する。

なお、春学期の各講義のうち、元教員および卒業生が担当した各回については原則、情報メディ

アセンダー職員によるビデオ撮影が、担当者の了承を得た形で行なわれた。これは前年度より計画されていた事項であり、“生き証人”としての各氏の講義をアーカイブ化することにより、今後各方面に活用することを目的としたものである。

また、中本克樹氏による「同窓生の講演」は、功刀副学長と同じくパワーポイントを用いながら（同様のシステムは、ほかにも藤田教授が使用）、“チャンスをつかむ”ことを自らの就職活動や入社後の体験から語って下さり、とりわけ「就活」を控えた2・3年生に感銘を与えたように思えた（実際豊橋では、講義後何人かの受講生が中本氏まで詳しい話を聞きに来た）。武井氏の講義は、受講生に語りかける姿勢が際立つものとなり、本人の誠実かつ積極的な人柄がここでもうかがえた。なお、武田元学長に代わって筆者が担当した回は、基本的に同氏がされてきた内容を踏襲した。

いっぽう、2007年度より筆者が担当してきた「キャンパス案内・ツアー」は、それまでと同様な形で（名古屋校舎では教学課と協同で）行なったことから、詳細は『愛知大学史研究』第2号の拙稿「愛知大学キャンパスツアー」を参照されたいが、今回は豊橋校舎での受講生が単独では案内しきれないほど増えたため、前記の武井氏とで引率を二手に分けることにした（功刀副学長が普段は名古屋校舎にいるための措置でもあったが、同副学長はその時を始め、春・秋を通じて多忙なか極力各講義の場に来て下さったこともここで述べておきたい）。実施後参加者に提出させた「案内・ツアー感想文」について、春の豊橋校舎参加者の「テーマ一覧」を【別表3】に、秋の名古屋校舎参加者の「内容抜粋」を【別表4】に、それぞれ掲載する。

学期末試験（筆記）については両校舎とも、功刀副学長が問題を作成し、同氏と筆者が監督を務めた。前年度とは「持込み可」とした点で変更があったが、内容は大きな差異はなかった。

おわりに

以上のように、履修者数の面では豊橋校舎は“もったいなく”、名古屋校舎は“残念な形で”、幕を下ろすことになった感のある「大学史」講義であったが、「本学の歴史への限定と導入科目への組み込み」という形で「独自科目としては廃止」となったのであって、具体的には、“本学創設の理念教示”や“記念館見学”といった点について、各専任教員が新生を対象に行なっている「入門ゼミ」「学習法」などの“オリエンテーション的講義”で触れるという形で、一応受け継がれることになったようである。ただしこれは、あくまでも筆者が一部該当教員から聞いた限りでの話であり、今後その方針が明確にとられていくかという点は何ともいえないが、豊橋校舎では記念館や展示室の見学は確かに何度か実施されたところであり、筆者も「大学史」講義の延長線上のものとして2010年春学期に、両校舎で新たに担当することになった教職課程「日本史」において、大学史の要素をできる限り取り入れてみた（これは豊橋校舎への新学部設置に関連して、今後は方針を変えざるをえなくなったが）。

講義で「大学史」を取り上げることは、やはり地味でマイナーなことであるかもしれないし、扱い方には注意を要しよう（本学では「過度の自校史礼賛」につながるとして反対した教員が多かったのも事実のようである）が、名古屋笹島地区への進出が視界に入った今、愛知大学の新たな歴史を教職員・学生・卒業生が一丸となってつくっていくために、短いながらも本学に存在した「大学史」講義が少しでも何かの際に参考となれば、これまで同講義を担当・記録してきた筆者にとって幸いである。

（最後に、初年度以来「大学史」講義に協力して下さいました皆様に対しまして、衷心より感謝の意を申し上げます）

【別表1】2009年度春学期「大学史」第1講での小作文

「愛知大学に入学して」（1年生用）

「愛知大学で学んでいて」（2年生以上用）抜粋（「不本意入学」関連）

以下各【別表】とも、原文のまま表記するとともに、文中の注記は〔 〕内に記し、「〔…〕」は中略を、「／」は改行を詰めたことをそれぞれ示す。

<p>僕は国公立に落ちて愛大に入学しました。いわゆる不本意入学です。でも入学したからには、講義もちゃんと受けて、教職の免許や行政書士などの資格をとりたいです。【文1年】</p>
<p>不本意入学ですが、勉強に対する意欲は十分なので大丈夫です。今日初めて行ってみましたが、図書館がすごいです。〔…〕地理学の藤田佳久先生に同文書院の話をきいたので、興味もわいてます。【文1年】</p>
<p>僕も指定校で入学したので、入学するための受験勉強などに力を入れて取り組んでこなかったのが、「不本意入学者」にあたるのかもしれませんが、入学してみて、思っていたよりも良い大学だというイメージをもちました。だから、今からでももっと勉強をがんばりたい。【文1年】</p>
<p>不本意入学生ですが、精一杯大学について学ぼうと思いました。大学の歴史は奥が深いので驚きました。愛大は、いろんなレベルの生徒が集まっているので安定しているんだと思いました。【文1年】</p>
<p>不本意で入ってしまったが友達ができたのでよかった。 大学では文武両道を目指したい。【文1年】</p>
<p>第二希望でしたが後悔は全くありません。家から近い所にある愛知大学は環境的には理想的です。講義内容についても、90分が短く感じるものが多く、また、豊橋キャンパスにある図書館の蔵書数は大変魅力的で、毎日通いたいと思います。【文1年】</p>
<p>僕は、本当は、ここに入るつもりではなかったが、何かと理由があって、愛知大学に入学した。 僕は愛知大学で、日本史学を学びたいと思う。 また、愛知大学がこういう歴史を持った大学だ、と知って、ここで日本史学を学んだのだ、と卒業して誇れるような大学生活を送りたいと思う。【文1年】</p>
<p>愛知大学は、自分の志望大学の中で、とても下位の方にありました。 しかし、愛知大学にしか受かることができず、あきらめて来ることにしました。自分は不本意入学者ですが、これからは、自分のやりたいことなど、大学で見つけていきたいと思っています。【文1年】</p>
<p>私は正直「不本意入学者」で、愛知大学への出願も締切2日前に決定したので、あまり大学に対しての知識や興味がありませんでしたが、今日まで約一週間授業を受けてみて、講義内容が魅力的なものが多かったり、自分の学びたいことが国公立の大学よりも深く学べることに気づいたので、これから4年間、愛知大学でしっかり学んでいきたいと思っています。【文1年】</p>
<p>私は公募推薦で合格したので、不本意入学者ではありませんが、この愛知大学豊橋校舎にも少なからずそういった人がいるのは事実だと思います。 しかし愛知大学は先生や先輩のふんいきも良く、環境も中々整った所だと思うので、たとえ不本意な入学であっても、時間が経てば楽しい生活を送れると思います。 私自身あのしい4年間を過ごせるように努力はおこらないようにしたいです。【文1年】</p>
<p>自分は、不本意入学したのだけど、まだ、自分の就きたい職への夢を閉ざされたという状況でないので、これから、やりたい職業に就くために頑張って勉強していきたいです。【文1年】</p>
<p>私が愛知大学に入学したのは、講義でも言っていたように不本意入学でしたが、今は愛知大学で学べてよかったと思います。1、2年生でしっかりと語学や教養科目も学習し、3年生で専門的な学習にはいるという形は私にとってぴったりでした。〔…〕【文3年】</p>

<p>心理系のことを学びたくて、他大学を志望していたけれど、愛知大学しか受からなかった不本意入学者の一人です。受験した時は心理学専攻があることを知らなかったのですが、入学し、なんとか専攻に入れました。このどかな雰囲気の大が、今では好きになりました。【文3年】</p>
<p>私はこの講義でいわれていた不本意入学者だと思っています。自分は文学が苦手、特に英語は特に苦手なのですが、2年生で英語圏専攻になってしまいました。今でも多少後悔していますが、先生にも恵まれ、一生懸命勉強したいと思います。【文3年】</p>
<p>私は愛知大学は第一志望ではありませんでした。しかし入学決定後、同じ愛知県内という安心感をえました。電車で片道1時間半ほど揺られて通っていますが、程良い距離で、緊張をときほぐしてくれます。都会から離れているので静かでもあります。じっくりと勉強でき、ゆったりと休憩できます。周りの人もとても優しく、サークルなどですぐにいろいろな話もできました。とても良い大学です。【経済1年】</p>
<p>自分も含め「不本意入学生」は最初のうちは気分が沈みがちで、本命で受けた人に差をつけられてしまうと思います。だからこの先、この愛知大学に自分の居場所を見つけ、モチベーションを上げて文学〔勉学の誤りカ〕にはげみたいと思います。【経済1年】</p>
<p>自分はすべりどめで大をうけただけだったので、最初に行くことが決まったときは浪人しようか迷うほどでしたが、いろいろしらべているうちに浪人して一年使うより、大で一年間勉強すればいいと思いだしたので入学しました。／友達もたくさんいたので、資格などをたくさんとれるようにがんばって、入学したことを後悔しないようにしたいです。【経済1年】</p>
<p>ぼくも、第一志望に落ちた不本意入学者の一人ですが、実際、愛知大学まで足を運んでみると、愛知大学でよかったかな、とも思い始めています。優しい先輩方や熱心な先生の講義をきいていると、ますますそういった気持ちになります。／これからは、せっかく入った大学だから、大学史で大学のことも詳しく知っていきたいと思いました。【経済1年】</p>
<p>自分は、愛知大学は第3志望でした。入学が決まったとき、正直不安や複雑な気持ちでした。でも入学してみると、とても楽しい場所で、毎日が充実していると思っています。〔…〕これからどんな生活がまっているかは、今は、あまり分かりませんが、楽しみです。将来は、教職をとって、教員になりたいと思っています。4年後、大に入ってよかったと思えるように、何事も全力で取りくみたいと思っています。【経済1年】</p>
<p>〔…〕クラブやサークルはどの部も盛んに行われていて設備もしっかりしている。ボクは第1志望の大学に残念ながら落ちてしまいここになってしまったが、今はここに入って良かった。【経済1年】</p>
<p>ぶっちゃけ僕自身が不本意入学生です（笑）。でも愛知大学はけっこう地元のひとや、会社からも評判がいいと聞くので、全く後悔などはしてません。とりあえず、友人・知人0の状態から来たので、まずはたくさん友達作りたいたです。【経済1年】</p>
<p>私は他の大学を第一志望にして、受験勉強をしていました。最終的にはその大学に落ち、愛知大学に入学することになりましたが、歴史あるこの大学で学べるので、受験失敗とはとらえていません。がんばっていきましょう。【経済1年】</p>
<p>私は愛知大学に第1志望で入学したわけじゃありません。だから入学する前は今思えば少しがっかりした気持ちだったかもしれません。でも私がやりたかった旅行関係の仕事に役立つ語学力をこの大学で身に付けられることを知って、少しこの大学に期待がもてました。今はサークルや勉強や友達作りなど楽しみなことがたくさんあるし、早く自分の居場所というものこの大学で見つけて充実したキャンパスライフを送りたいと思います。〔…〕【国コミ1年】</p>
<p>入学する前に愛知淑徳大学と愛知大学に合格して、どちらに入学しようか悩みました。偏差値からみると、淑徳の方が高いので、そちらにしようかと思いましたが、周りから歴史のある大の方がいいと言われ、歴史の深さは、ずば抜けていると思う。【国コミ3年】</p>
<p>最初は正直言ってマジメに入ろうと思って入った学校ではありませんでした。でも興味のある授業や歴史が多く、この学校に入って良かったです。なので今は編入を目指しています。〔…〕【短大2年】</p>

【別表2】2009年度秋学期「大学史」第1講での小作文
「三好の愛知大学に在学して」抜粋（笹島移転関連）

今は大学から近いからいいけど、四年になったらささしまに行くので、すごく大変だと思った。【経営1年】
長い歴史を持った三好校舎がなくなってしまうのはさみしいですが、笹島への移動は賛成です。県内で1番名古屋駅に近いということで、就職活動などに便利になりますし、高校生からの人気も上がり、受験者が増え、偏差値が上がると思います。【経営1年】
4年生になったら「ささしま」に移動することになり、3年間学んだ校舎がなくなってしまうのは、残念に思います。【経営1年】
三好の愛知大学に在学していて、とても通学に時間がかかります。でも、車などが通っていないため、静かに学習ができる場所です。でもやっぱり早くささしまキャンパスに行きたいと思います。【経営1年】
私の家から三好のキャンパスは遠いので、通学が嫌になることがある。ささしまに移転してもらおうと、今、1時間半ぐらいかかる時間が30分くらいになって、定期代も今の半分くらいになるので、三好よりもささしまに大学があると助かる。【経営1年】
入学当初は田舎の大学にあまり良い印象を受けなかったが、今では慣れてきた。移転するのは少し残念な気がする。【経営2年】
【三好の校舎の長所・短所をあげた上で】この大学は、無くなって欲しくない。【経営3年】
駅からバス or 歩いても15分程度なので他大学と比べれば便利が良いと感じる。自然にも囲まれているため良い環境だとは思いますがもう少し、栄えてほしいと思っていたら…笹島移転。色々、問題点もあげられているが、更なる発展を期待したい。【経営3年】

【別表3】2009年度春学期「キャンパス案内感想文」テーマ一覧

(学籍番号順)

学部・学年	性別	題名	内容
文学部			
1年	女	軍都豊橋だった頃の愛知大学	旧軍施設
	女	キャンパス案内の感想	旧軍施設
	男	キャンパス案内の感想	展示室
	男	大学史・キャンパス案内の感想レポート	旧軍施設
	男	オリエンテーションのかんそう	中国との関係
	男	キャンパス案内	旧軍施設
	女	大学案内感想文	施設・展示室
	女	キャンパス案内の感想	旧軍施設
	男	愛知大学のイメージ	展示室
	女	愛知大学キャンパス案内	同文書院・豊橋校舎
	女	大学案内の感想文	旧軍施設
	女	豊橋校舎キャンパス案内の感想	施設・展示室
	男	キャンパス案内の感想	施設・同文書院
	男	キャンパス案内	愛知大学の歴史
	男	キャンパス案内感想レポート	旧軍施設
	男	キャンパス案内の感想	旧軍施設
女	キャンパス案内レポート	旧軍施設	

学部・年	性別	題名	内容
	女	豊橋キャンパス案内の感想	施設・展示室
	男	キャンパス案内の感想	施設・展示室
	女	豊橋校舎キャンパス案内	愛知大学の歴史
	女	キャンパス案内の感想	東亜同文書院
	男	キャンパス案内の感想	施設・同文書院
	女	豊橋校舎キャンパス案内の感想	本間喜一
	男	大学を探検してみて	旧軍施設
	男	大学史	旧軍施設
	男	オリエンテーションの感想	中国との関係
	男	感想文	旧軍施設
	男	キャンパス案内についての感想	本間喜一
	女	大学案内感想文	愛知大学の歴史
	男	キャンパス案内	展示室
	男	キャンパス案内の感想	施設・同文書院
	男	キャンパス案内感想文	愛知大学の歴史
	男	愛知大学散策講習についてのレポート	旧軍施設
	女	キャンパス案内の感想	旧軍施設
	男	キャンパス案内	愛知大学の歴史
	男	キャンパスを歩いた感想	展示室
	男	キャンパス案内の感想	施設・展示室
	女	キャンパス案内レポート	施設・同文書院
	男	キャンパス案内の感想	旧軍施設
	女	5月1日の大学キャンパス案内について。	施設・展示室
	女	大学案内の感想	旧軍施設
	男	キャンパス案内感想	施設・同文書院
	男	キャンパス案内の感想	旧軍施設
	男	キャンパス案内の感想	中国との関係
	女	豊橋校舎キャンパス案内感想文	旧軍施設
	女	愛知大学内見学の感想	施設・展示室
	男	愛知大学の散策	愛知大学の歴史
	男	愛知大学を見学した感想	施設・展示室
	男	キャンパス案内感想	旧軍施設
	男	キャンパス案内	旧軍施設
	女	「大学史」キャンパス案内レポート	旧軍施設
	男	キャンパス案内	愛知大学の歴史
	男	キャンパス案内の感想	施設、中国との関係
	男	愛知大学探検を終えて。	愛知大学の歴史
	男	キャンパス案内の感想	展示室
	男	キャンパス案内の感想	施設・展示室
	男	キャンパス案内の感想	旧軍施設
2年	女?	キャンパス案内の感想	施設・展示室
	女	キャンパス案内の感想	展示室
	男	リレー講義レポート	展示室
	女	キャンパス案内感想レポート	旧軍施設



学部・学年	性別	題名	内容
	男	キャンパス案内の感想	旧軍施設
	女	キャンパス案内の感想	施設・展示室
	女	大学史レポート	施設・展示室
	男	キャンパス案内感想文	施設・展示室
3年	男	感想レポート	施設・展示室
	女	学内見学を終えて	愛知大学の歴史
	男	豊橋校舎キャンパス案内感想文	施設・展示室
	男	キャンパス案内の感想	旧軍施設
	男	キャンパス案内の感想	展示室
	女	豊橋校舎キャンパス案内の感想	施設・展示室
	男	キャンパス案内感想	展示室
	男	キャンパス案内の感想	展示室
	男	キャンパス案内をして	施設・展示室
	女	大学のキャンパス案内をしてもらって。	施設・展示室
	女	キャンパス案内の感想	施設・展示室
	女	キャンパスツアーの感想	展示室
	男	キャンパス案内の感想	展示室
	女	大学記念館を見学して	展示室
	男	キャンパス案内感想	施設・展示室
	男	キャンパス案内感想	施設・展示室
	女	サークルの歴史の感想	展示室
経済学部			
1年	男	リレー講義「大学史」	施設・展示室
	女?	キャンパス見学	愛知大学の歴史
	男	「キャンパス案内」に参加しての感想	施設・展示室
	男	豊橋校舎キャンパス案内	旧軍施設
	男	キャンパス案内の感想	旧軍施設
	男	キャンパス案内の感想	旧軍施設
	男	愛知大学について	展示室
	男	豊橋校舎キャンパス案内	豊橋校舎全体
	男	豊橋校舎キャンパス案内レポート	展示室
	男	キャンパス案内の感想	施設・展示室
	男	キャンパス案内の感想	施設・展示室
	男	豊橋校舎キャンパス案内	旧軍施設
	男	キャンパス案内	展示室
	男	キャンパス案内の感想	施設・展示室
	男	豊橋キャンパス案内	旧軍施設
	男	キャンパス案内	旧軍施設
	男	豊橋校舎キャンパス案内	施設・展示室
	男	豊橋校舎キャンパス案内レポート	豊橋校舎全体
	男	豊橋校舎キャンパス案内レポート	施設・展示室
	男	キャンパス案内	施設・展示室
	男	豊橋校舎キャンパス案内レポート	旧軍施設
	男	キャンパス案内の感想	旧軍施設
	男	豊橋校舎キャンパス案内	展示室

学部・学年	性別	題名	内容
	男	豊橋キャンパスを見学して	施設・展示室
	男	豊橋キャンパス案内についてのレポート	豊橋校舎全体
	男	豊橋校舎キャンパス案内感想文	旧軍施設
	男	豊橋校舎キャンパス案内	愛知大学の歴史
	男	キャンパス案内の感想	展示室
	男	キャンパス案内の感想	豊橋校舎全体
	男	大学記念館と自分の考察	旧軍施設
	女	キャンパス案内の感想	東亜同文書院
	女	キャンパス案内の感想	施設・展示室
	男	キャンパス見学を終えての感想	愛知大学の歴史
	男	キャンパス案内の感想	愛知大学の歴史
	男	キャンパス案内の感想	愛知大学の歴史
	男	キャンパス案内の感想	豊橋校舎全体
	男	キャンパス案内の感想	旧軍施設
	男	キャンパス案内	旧軍施設
	男	豊橋校舎キャンパス案内レポート	施設・展示室
	男	豊橋校舎キャンパス案内の感想	旧軍施設
	男	豊橋校舎キャンパス案内	施設・展示室
	男	キャンパス案内の感想	愛知大学の歴史
	男	キャンパス案内の感想	愛知大学の歴史
	男	キャンパス案内の感想	愛知大学の歴史
	男	キャンパス案内の感想	愛知大学の歴史
	男	キャンパス案内の感想	旧軍施設
	男	豊橋校舎キャンパス案内の感想	旧軍施設
	男	キャンパス案内の感想	展示室
	女	キャンパス案内の感想	展示室
	男	キャンパス案内の感想	愛知大学の歴史
	男	豊橋校舎キャンパス案内	展示室
	男	豊橋校舎キャンパス案内レポート	展示室
	男	豊橋校舎キャンパス案内レポート	施設・展示室
	男	キャンパス案内	施設・展示室
	男	大学見学の感想	施設・展示室
	男	見学の感想	施設・展示室
	男	リレー講義「大学史」	愛知大学の歴史
	男	キャンパス案内の感想	旧軍施設
	男	キャンパス案内の感想	施設・展示室
	男	リレー講義〔ママ〕	施設・展示室
	男	キャンパス案内	豊橋校舎全体
	男	キャンパス案内の感想	施設・展示室
	男	豊橋校舎キャンパス案内について	施設・展示室
	男	大学史キャンパス案内の感想	施設・展示室
	男	キャンパスツアーの感想	施設・展示室
	男	豊橋校舎キャンパス案内の感想	旧軍施設
	男	大学史レポート	施設・展示室
	男	キャンパス案内	東亜同文書院



学部・年	性別	題名	内容
	男 男 男 男 男 男 男 男 女	キャンパス案内感想レポート 感想 キャンパス見学を終えて感じたこと キャンパス案内 リレー講義「大学史」豊橋校舎キャンパス 大学案内の感想 愛知大学見学 キャンパス案内の感想 豊橋校舎キャンパス案内を終えて キャンパス見学	施設・展示室 旧軍施設 施設・展示室 豊橋校舎全体 展示室 愛知大学の歴史 旧軍施設 施設・展示室 愛知大学の歴史 愛知大学の歴史
2年	男 男 男 男 男 男 男	大学資料館を見学した感想 愛知大学内フィールドワーク 豊橋校舎キャンパス案内感想レポート キャンパスツアーの感想 キャンパス案内のレポート 愛知大学を見学した感想・意見 リレー講義「ママ」レポート	施設・展示室 展示室 旧軍施設 展示室 旧軍施設 旧軍施設 施設・展示室
3年	男 男 男 男 男 男	大学見学の感想 大学史キャンパス案内レポート 豊橋校舎キャンパス案内 キャンパス案内、感想 大学キャンパス案内を終えて キャンパス案内の感想 愛知大学・記念館を見学した感想・意見	施設・展示室 施設・展示室 施設・展示室 展示室 東亜同文書院 施設・展示室 愛知大学の歴史
国際コミュニケーション学部			
1年	女 女 女 女 男	キャンパス案内の感想 キャンパス案内の感想 キャンパス案内の感想 キャンパス見学 大学見学での感想	豊橋校舎全体 愛知大学の歴史 施設・展示室 愛知大学の歴史 旧軍施設
2年	男 女 女 女 女 女	キャンパスツアーの感想 キャンパス案内の感想 キャンパス案内の感想 キャンパス案内を終えて 愛知大学を見学した感想 愛知大学・記念館を見学した感想・意見	中国との関係 施設・展示室 施設・展示室 施設・展示室 旧軍施設 豊橋校舎全体
3年	女 女 男 女 男 女	日中の偉業 キャンパス案内の感想 キャンパス案内について キャンパスツアーレポート 豊橋校舎キャンパス案内感想文 キャンパスツアーレポート	中国との関係 施設・展示室 豊橋校舎全体 展示室 施設・展示室 施設・展示室

学部・学年	性別	題名	内容
短期大学部			
1年	女	大学史レポート	展示室
	女	大学史	旧軍施設
	女	キャンパスツアーの感想	展示室
	女	〔無題〕	展示室
2年	女	キャンパスツアーの感想	展示室
	女	大学史	施設・展示室
	女	キャンパス案内の感想	展示室
	女	大学史	施設・展示室
	女	「大学史」キャンパス案内の感想	愛知大学の歴史
	女	愛知大学キャンパス案内感想	施設・展示室
	女	キャンパス案内の感想	施設・展示室
	女	キャンパス案内について	施設・展示室
	女	キャンパス案内の感想。	施設・展示室
	女	キャンパス案内の感想	中国との関係

【別表4】2009年度秋学期「豊橋校舎キャンパスツアー」感想文での記述

(内容別に抜粋)

・豊橋校舎に関する主な感想

私は法学部なので今まで名古屋〔三好〕キャンパスと車道キャンパスにしか行った事がなかったのであるが、それらのキャンパスとは少し異なっていてキャンパスの至る所から歴史や風情が感じられた。まず驚いた所はキャンパス内に乗馬のためのグラウンドがあった所である。私は今まで本物の馬を身近に見た事がなかったのでその大きさと風格に感動した。乗馬のサークルなど歴史がなければ存在しないだろう。自分の在学中の大学を自分で誇りに言うという事などあまり言いたくはないけれども、とにかく圧倒的な歴史と存在感を感じた。【法4年】

大学内を回っている時に感じたことは〔午後の講義がない〕木曜日だったからかもしれませんが、部活が三好よりもとても盛んだと思いました。〔…〕また、豊橋校舎は校内を自転車で移動している生徒が多くて、三好〔名古屋〕校舎では考えられないと思いました。ただ自転車で校内を移動することに憧れを感じました。そして、校内に坂道等がなく、自分が高校生だった時に想像していた大学の姿が豊橋校舎を探索して思い出されました。【法4年】

今回愛知大学豊橋校舎に行き、自分たちの大学の歴史がわかったのでとても貴重な経験ができたと思います。／この授業で初めて豊橋校舎に来たけど愛知大学の歴史はとても深くまだまだ知らないことが多くもっと知りたいと思ったのでまた豊橋校舎に来る機会があったらいいと思いました。／愛知大学の記念館を見て、自分はこの大学に入学できてよかったと思いました。【経営3年】

〔名古屋キャンパスには愛知大学の歴史についての資料は身近にないが〕キャンパスツアーに参加して豊橋キャンパスの歴史ある建物や大学史に関する資料に触れることにより、今まで感じていた漠然としたものをあらためて身近なものとして感じる事ができました。【法2年】

今回のキャンパスツアーで初めて私は豊橋校舎を訪れたのですが、感想として最初に感じたのは、広い敷地に立派な門や旧日本軍の使用していた建物などの歴史あふれる雰囲気のある豊橋校舎にただただ圧倒されたということでした。また、校舎を一通り見て回り大学記念館や図書館などの建物を見て、まさしくこれこそ私が思い描いていた大学という場所だと思いました。【法2年】



<p>私は正直名古屋校舎より豊橋校舎に通いたいと思ってしまいました。豊橋校舎は大学という言葉がびっぴりの雰囲気を持ち合わせていますし、また、それを肌で感じさせてくれる程の空気が漂っていました。私は愛知大学名古屋校舎に入学した当初は、名古屋校舎が自分が想像していた大学というイメージとはかけ離れており、不満を抱いていましたが、豊橋校舎を訪れたことによって、少し不満が解消された気分になりましたし、自分ももしかしたら素晴らしい大学に入学したのではないかと思うようになりました。【法2年】</p>
<p>愛知大学の豊橋校舎には戦争当時だったころから軍の施設として利用されていた建物も残っていて、当時の雰囲気をすこし感じる事ができたとおもいます。当時、軍の施設として使われていた建物には陸軍のマークが現在でも残っていて、当時から何十年とたっているにもかかわらずこのような歴史が残っているのはすごいなと感じました。【法2年】</p>
<p>豊橋校舎の印象は名古屋校舎とはかなり違った印象を受けました。〔…〕／豊橋校舎は愛大で一番最初にできた校舎だけあって、歴史や伝統がとても多く立派な記念館や校舎が多く初めて行ってみて驚く点がとても多かったです。【法2年】</p>
<p>豊橋校舎についてすぐ、〔愛知〕大学前の駅が目に入ってきました。過去には大学内を線路が通っていたというのすごい事実だと思いました。〔…〕／豊橋校舎はもともと日本陸軍の施設に使われていたこともあり、床も木でできているところがあり、外見にも非常に歴史を感じました。古くから残っている線路（電車）や、古く伝統のある校舎をこれからも大事に守っていくことが必要であると思います。【法2年】</p>
<p>今回愛知大学の豊橋キャンパスの見学ツアーに参加させてもらって、愛知大学に在籍しながら歴史など知らなかったことがたくさんあることに気づきました。〔…〕／豊橋キャンパスの建物の歴史の古さ、重要さを痛感しました。歴史のある建物を維持・保存することのすごさにも気づきました。またさまざまな記念に植えられた木にも時代を感じました。【法2年】</p>
<p>初めて豊橋校舎に行き行って感じたのは、普段通学している名古屋校舎に比べてかなり敷地が広くて歴史を感じる大木であったり、大学記念館などは、何も愛大の歴史を知らなかったとしても、これは歴史があるんだなと感じるような風情がありました。【経営2年】</p>
<p>〔豊橋校舎の〕雰囲気としては、グラウンドが広くて、私たちの名古屋キャンパスよりすごく活気がある感じがしました。名古屋キャンパスと面積はさほど変わらないと聞きましたが、平地にあるためすごく広く思えて、移動がしやすいという感じを受けました。また、電車の昇降口が大学のすぐ脇にあり、すごく便利だと思いました。【経営1年】</p>

・記念館・展示室・東亜同文書院に関する主な感想

<p>私は最初に資料〔記念〕館と聞いて結構新しい建物だと勝手に想像していたのだけれども非常にこれも風情があって素晴らしい建物であった。国指定の重要文化財になっているというのなるほどうなずける話だなと思った。【法4年】</p>
<p>豊橋校舎キャンパスツアーを通し、一番心に残ったことは東亜同文書院と愛知大学のつながりを示した学籍簿と成績簿を自分の目で見ることができたことです。〔…、敗戦時〕外地にあった日本の学校でこれらを持ち帰った事例は他にないといわれているとあり、自分たちの荷物よりも学籍簿、成績簿を優先させて持ち帰った東亜同文書院大学の教員と学生の人たちのすごさが伝わってきました。〔…〕とても尊敬の思いでいっぱいになりました。こうやって歴史は伝わっていくのだと改めて感じたし、愛知大学の歴史のとりこになりました。【経営3年】</p>
<p>記念館に入りすぐ東亜同文書院大学の記念センター室に入り、多くの掛軸がありその字は昔の書き方でとても歴史を感じました。この第一展示室は東亜同文書院から大学になるまでの歴史の資料がたくさん展示されており、次の展示室は世界的にも有名な近代中国の革命家である孫文を支援した山田兄弟という日本人の兄弟を通じて、中国近代史を紹介していて日中関係について触れることもできました。また、これからの日中関係について考えることができたと思います。【経営3年】</p>

最初に見学した大学記念館では、〔前の〕授業中の説明で歴史のある建物だと認識はしていましたが、戦後アメリカ軍が来る前に取り外したシンボルがあった場所や有形文化財指定と書いてあるプレートを確認して本当に歴史ある建物であり、それ自体が貴重な歴史的資料であることに改めて気付かされた。〔…〕中の資料を見て愛知大学の東亜同文書院時代からの歴史やその中で起こった事件社会に与えた影響を感じ、また中国の革命にも関係していたといった資料や、孫文から贈られた掛け軸などの貴重なものを見て中国との関係の深さを改めて認識した。【法2年】

〔初めて豊橋校舎を訪れた〕その時は、まだ大学史を受講していないので、愛知大学がとても凄い大学であるということを知りませんでした。しかし、今大学史を受講して、それが確信へと繋がりました。愛知大学の前身である東亜同文書院大学が当時の日本では、狭き門であり、また各地の優秀な学生が集まったエリート校であったことも、その大学で教鞭を取っていた教師陣もまた当時の有名な方々であったのも知りませんでした。愛知大学の前身が東亜同文書院であることは、私がこれから生きていく人生の中で自慢できることです。【法2年】

豊橋キャンパスにある愛知大学記念館は、まずその建物から歴史を〔感じ〕させられました。この記念館の建物は戦後に建てられたものではなく、戦争当時からある建物をそのまま記念館としてつかわれています。この記念館の中には現在、数多くの愛知大学の歴史に関するものが展示されていて壁にはプレートで大まかなながらそれを説明したものもあり、愛知大学の歴史を知るうえではかかせないものではないかなとおもいました。記念館を見学していくなかで「愛知大学事件」と「薬師岳遭難事故」というおおきな2大事件に興味をひかれました。【法2年】

東亜同文書院の学生たちが行う大旅行では中国全土をまわっていたが、当時交通の便があまり良くなかったであろう中国をどのようにして大旅行をしていたのか気になりました。大旅行の道りがパネルになって展示されていましたが、今の愛知大学の現代中国学部の学生も卒業論文の代わりに昔のように大旅行に行き、「調査報告書」を書いてもらったら良いのではないのでしょうか。【法2年】

大学記念館があんなに古くから建っていることにとっても驚きました。二階にある旧学長室は階段をあがって真正面であって、その階段のつくりや、学長室の配置などとても時代を感じさせるつくりのように感じました。大学記念館〔、〕東亜同文書院・大学史展示室にはこれまでの愛知大学のできごとや写真が並べられていて、歴史の深さを感じました。この大学記念館に菊御紋章の跡や陸軍星マークが残っていることがすごいなと思いました。そしてこの大学記念館〔…〕が旧日本陸軍第十五師団司令部庁舎として使われていたこと、国登録文化財になっていることに非常に驚き、こんな由緒ある愛知大学に通っていることに感動を覚えました。【法2年】

私は愛知大学に入学してから、あと少しで二年になります。しかし、愛大事件や東亜同文書院のことはほとんど知りませんでした。知らなかったというより、興味がなかったというほうが正しくなるかもしれません。私に比べて当時の教員・学生たちは大学に対する大きな愛情があり、大学を守るために生徒・教員を守るために多くの活動をしてきました。大学が無くなってしまおうという危機感があったからという理由があるかもしれませんが、今の学生と比べたら大きく違います。〔展示・説明を見聞きして〕私も当時の学生のように大学に愛情を持ち、大学を守りたいと思えるような学生生活にしたいと思いました。【経営2年】

豊橋校舎に実際に行き、記念館のような歴史的建造物を見学し、館内の記念品や展示品を見ると愛大にも長い歴史があったのだと実感できました。分厚い学籍簿もそれを物語っていました。【経営2年】

歴史館〔記念館〕では愛知大学の古い時代の資料をたくさん見たがどれも興味深いものだった。中でも、中国から自分の私物をあきらめてまで持ち帰ったといわれる成績表などはただならぬものを感じた。【経営2年】

最初に訪れた大学記念館は、〔…〕国登録文化財に指定され、ペンキの色などはきれいになっていましたが雰囲気はとてもレトロで、100年の歴史を感じるような建物でした。中の造りも洋風になっていて現在、博物館となっていました。中国にあった東亜同文書院の当時の卒業アルバム、学籍簿や成績簿など数多く残っていて、当時の時代背景などが感じられました。〔…〕違う部屋では、愛知大学自体の歴史や、私たちのいる名古屋キャンパスができたあがるまでの様子も知ることができました。そして授業でも聞いた「薬師岳遭難事故」のブースもあり、事故についてすごく生々しく感じるすることができました。【経営1年】

・本間喜一ら、当時の教員・学生に関する主な感想

<p>私はこのキャンパスツアーを終えて恐縮ながら〔…〕愛知大学に〔…〕本間先生の守りたかった物は今もあるのだろうか、と考えてみた。私は残念ながら薄れてきているのではないかという答えになってしまった。大学生の本分はやはり学問であると思う。しかし、私も含めて今の大学生の本分は遊びになってしまって〔…〕本間先生の守りたかったものはもう無いのではないのかと思う。ではどうしたらいいのだろうか。私はこの大学に入学した新たな入学生にキャンパスツアーとして豊橋キャンパスの資料館に行かせてみる事がいいと思う。資料館で愛知大学の建学の精神や本間イズムに触れてみるのが一番いいと感じる。私自身、資料館に行く前と行った後では一日の過ごし方がかなり変わってとても有意義な生活が出来ていると思っている。これはやはり、資料館で〔…〕このままではいけないなと感じたからであると思っている。私はこの愛知大学で学べている事を誇りに思い、また感謝しながら学んでいきたいと思っている。【法4年】</p>
<p>記念館の資料を見て行く中で本間喜一先生の発言や行動にとっても感銘を受けました。私が1番すごいと思ったことは学生の成績等の資料を命懸けで持って帰ったことです。自分が命の保障が確実ではない時にはたして本間先生のような行動がとれるのかと自問自答をしてしまいました。また、至る所に本間先生を記念して作られたものがあり、愛大には必要不可欠だと感じました。そして、自分のことを犠牲にしてまで学生や大学を守る姿勢に本間イズムを感じました。また、私はそのような歴史ある大学に通っていて良かったと資料を見ながら思い〔…〕残り少ない学生生活を頑張ろうと思いました。【法4年】</p>
<p>記念館の最後に本間喜一学長の部屋を見ました。山岳事故では学生で命を落とした人がいて本間学長は「学生は宝」とおっしゃっていてほんとに愛大生を大切にしていた人なのだと思います。本当に本間学長は学生に愛され周りの人にも愛された人であると感じました。【経営3年】</p>
<p>東亜同文書院の100年の記念に植えてある記念樹もありました。菩提樹は「会議などで先生方が行き詰ったときにこの木の下で思考を深め、よりよい愛知大学に導いてほしい」という本間喜一先生の思いから植えられていて、本間喜一先生の愛知大学への思いを感じる木でした。【法2年】</p>
<p>学籍簿と成績簿は、日本敗戦の翌年に旧東亜同文書院大学の教員・学生たちが引き揚げる際、自分たちの荷物よりも優先させて持ち帰ったものなので、とてもきれいなまま保管されていました。外地にあった日本の学校でこれらを持ち帰った事例は他にはないようで、当時の教員・学生の学校に対する愛を感じました。私も含めて今の学生は、このような当時の学生に比べて愛知大学に対する愛というものは、皆無に等しいと思います。特に大学を大切に作るわけでもなく、ただ単に平凡に授業を受けにくる場所のようなものになっていると思います。今の学生と当時の学生との違いも感じる事ができました。【経営2年】</p>
<p>愛知大学事件は、入学したての時にも聞いたことがあり、改めて聞いたが当時の学長が、自ら先頭に立ち学生を守ろうとした事を聞いていい大学に入ったなと強く思いました。／今でも、中国と親交あるのはそうした今までの努力があり、今の愛知大学につながっていると感じました。【経営2年】</p>
<p>山岳部「葉師岳遭難」、この悲惨な事故の裏に本間先生の本当の人の人柄が浮き彫りになっている。／〔…〕／この事故を重く見た、本間学長は「たとえ大学がつぶれても救助・捜索活動は行う」や「ひとの命は地球より重い」などの言葉を残して、学長を辞任したのである。そのような本間先生の決断や人柄の良さが、自衛隊、友情捜索、地元住民などの全面的な賛助協力に拍車をかけたのであろう。／辞意決意に至った理由については一言も発言しておられませんが、それも本間先生の人柄の良さである。【経営1年】</p>

・ツアー全体に関する主な感想

<p>キャンパスツアーを終えて思ったことは、来年には社会人になり働くので、このようなキャンパスツアーという機会がとても良い経験だと思った。また、社会人になって自分の大学について聞かれた時は自信を持って答えられるようになったと思う。また、キャンパスツアーにあたり、色々なところで準備をして頂いた方々にとっても感謝したいと思います。また、積極的にキャンパスツアーに参加できたことはよかったです。【法4年】</p>
<p>豊橋校舎に行って、大学の歴史を教科書で見ただけでなく実際に見て感じる事ができました。歴史があり、いろいろな出来事を乗り越えてきて現在の愛知大学があることを知りました。またOBの多方面にわたる活躍は就活をしている自分にとってとても励みになりました。普段の大学生活では、大学の歴史やOBのことなど知ることはできないのでこの講義やキャンパスツアーを通していろいろな話を聞くことや実際に見たりする事ができました。【経営3年】</p>

<p>今回のキャンパスツアーではこの現存する創立当時の建物で明治の面影を残す木造2階建ての大学記念館はドラマのロケにも利用されたなど、記念館をはじめ、豊橋キャンパスには日本近代建築史の証人ともいえるべき建物がたくさん現存していて、旧陸軍施設と、その植栽樹を受け継いで出発した愛知大学は、百年を越す樹齢の木々に囲まれた明治以来の建物と新しい施設が協調して大学の機能をサポートしている。短い時間でしたが非常に居心地が良かったです。機会があればまた豊橋キャンパスに行きもっとゆっくりと見学したいです。このキャンパスツアーでまた一つ愛知大学の古き歴史に興味を持ち、愛知大学を誇りに思うことができました。【経営3年】</p>
<p>愛知大学の歴史を学生自身が知りそれを大切にすべきだと思った。また、キャンパス移転について自分には関係ないといわずにもっとそのことがもたらす変化や影響を知り、反応するべきだとおもった。【法2年】</p>
<p>〔愛大事件・薬師岳遭難事故という〕痛ましい事件を越えてきた愛知大学はすばらしい強さを持ち、歴史を感じさせる大学だと思いました。この愛知大学豊橋キャンパスを通して、愛知大学創設までの過程やそれに関わった人々の苦労を知り、自分の知らなかった愛知大学の一面を知ることができ、また実際に当時の資料などをみたりすることで当時の雰囲気を感じることもできて有意義な体験であったと思います。【法2年】</p>
<p>「大学史」の授業を通して思うことですが、自分の通う大学の歴史や伝統を何も知らないまま卒業してしまうのは、大変もったいないことであると思います。／この授業で少しでも多くの愛知大学の歴史を学んだ上で卒業して行きたいと思います。／今回豊橋キャンパスを見学に行けて本当に良かったと思います。【法2年】</p>
<p>大学史の授業で習ったことを今回のツアーのような形で実際に見て触れることは非常に大切なことであると思います。このツアーによって、私の東亜同文書院大学、愛知大学に関する歴史についてさらに興味を深めることが出来ました。【法2年】</p>
<p>愛知大学には愛知大学事件や薬師岳遭難事故なども乗り越えて現在の愛知大学を形成していると思います。そんな歴史ある大学を今回見学することができて再認識したこと、新たに発見したことなど有意義な時間を過ごすことができました。【法2年】</p>
<p>キャンパスツアーで愛知大学の歴史を学ぶだけではなく、当時の教員・学生の人間的な部分まで学ぶことができたことは、本当に今後の学生生活に生かしていけると思います。私自身も、愛知大学の一人の生徒として、当時の学生のように行動であらわし、学生生活のなかで愛知大学に何か恩返しができるといいと感じました。このキャンパスツアーで学んだことを自分自身で考えるだけではなく、愛知大学の歴史を知らない今の学生たちにも伝えていきたいです。【経営2年】</p>
<p>今回の愛知大学豊橋キャンパス見学によって、今私自身が通っている愛知大学を深く知ることができ、愛知大学を大切にしていかなければならないと痛感することができました。さらに愛知大学を誇りに思うことができ、非常に大きい経験を積むことができました。今後の学生生活を更に有意義なものにしていきたいと感じることができ、新たな目標も見つけることができました。愛知大学を誇りに学業に努めていきたい。【経営2年】</p>
<p>〔豊橋校舎の便利さを見て〕このキャンパスツアーを通じてささしま移転は本当に正しいのかと少し感じることができました。／豊橋キャンパスツアーでは昔の建物を実際に見て感じ、大学の歴史にも触れることができたので、非常に良かったと思います。そのため、この歴史的に価値のあるものが今後もこの形のままで残して欲しいと思いました。今回豊橋キャンパスを見学し、他のキャンパスを見ることですごく新鮮な気持ちになることができました。このキャンパスツアーで学んだこと、感じたことを生かして、また新鮮な気持ちで愛知大学に向かおうと思いました。【経営1年】</p>
<p>豊橋キャンパスツアー全体の感想として、今まで授業で学んだことが展示してある資料などにより、より知識がついたと思います。豊橋キャンパスは、名古屋キャンパスとは違い、身近に愛知大学の歴史を感じることができるキャンパスでした。愛知大学の学生として今回のキャンパスツアーはたくさんの愛知大学の一面を見ることができた、とても良いツアーになったと思います。残りの授業は今回のツアーで学んだことを参考にしていきたいです。【経営1年】</p>

〔注〕各項目ずつ、学部（法→経営）、上級学年、学籍番号順に掲載（学部の順番は本学の通例上のもの）。同一学生の感想を複数掲載したものも生じたが、あくまでも内容に基づく選定の結果であって、学部・学年・各人の別による作意はない。